

予算決算特別委員会（傍聴者0人）

▼主な質疑

◆平成29年度下仁田町一般会計補正予算（第5号）

問 防火水槽の設置の財源は。

答 国庫補助金を3基予定したが、3基とも不採択のため、起債に切り替える補正予算とした。

問 今後どうなるのか。

答 防火水槽は、各区からの要望なので、基本的には、補助がいただけなくても、起債に切り替えて対応したいと考えている。

問 商工費国庫補助金について、1500万円ほど計上されているが、この内400万円について説明を。

答 道の駅「しもきた」において、地元農産

物を活用した商品開発の補助金として

400万円を9月補正で計上したが、事業拡大のため「農山漁村おみやげ農畜産物販売促進事業補助金」400万円を追加補正した。

問 企画費の地方創生拠点整備交付金の工事請負費補正について、排水や空調工事であるとの説明を受けたが、当初の設計見積もりからはずして、2回に分けて行うということか。

答 6月補正では交付金対象となる部分だけの建設工事を補正予算要求した。今回は空調設備など交付金対象外の部分について予算要求し、単費で3月までに仕上げたい。県道側への排水が不許可と

なったための排水ポンプ工事、空調、厨房設備、当初予定していた無線LANではなくセキュリティを考慮し有線LANケーブル配線工事を、進行中の工事とともに実施したい。

問 地域経済循環創造事業の4千万円の補正について説明を。

答 ローカル10000プロジェクトですが、通常は2千万円の国庫補助、残り2千万円が町補助ですが、過疎地域のため3分の2国庫補助、3分の1町負担です。今回は10分の10の国庫補助をいただくことができた。

金融機関の貸付が9500万円、国庫補助4千万円です。こんにやく業者、金融機関、町の三位一体となった事業として国から認められ

た。事業としては5月に完成する予定で

す。

問 財政調整基金の取り崩し8210万円のほとんどが病院への財政支援だと思

う。基金の残高が10億3千万円のことであるが、喫緊の課題で今年度は財政支援やむなしということになった。来年度を想定すると、病院への支援は2億円を下らないと思う。過疎債適用が5千万円として1億5千万円の財調からの繰り入れが必要と思われる。町の財政事情からどう考えるのか。

答 本年の通常での取り崩しが1億8千万円あり、追加の8千万円で2億6千万円という状況。来年もこの金額がベースとなり、これ以上の取り崩しが必要になっていくと想定され

る。これを10億から引いていくと4年か5年で財調が0になると想定され、それを少しでもなくして

いくため、病院でも抜本的な改革が検討されていると思われる。これと同時に町全体でも一般財源の繰り出しを少しでも少なくする方法。あとは下仁田町応援寄附金、これを病院への負担金に充てるなどして財調の取り崩しを少なくするよう

な予算編成にとり組んでいこうと考えている。

問 毎年財調を1億5千万から、2億の取り崩しは大変厳しい。担当だけでなく管理者である町長から、見解を聞きたい。

答 このままでいくと5年。そういう訳にはいけないので病院の消費を少しでもとどめるような方向で

病院改革を進めていく方法しかないと思う。

問 町長活動諸費の37万2千円について。

答 安全管理上の問題を解消するために、現役を引退された有資格者の方にマイクロバスと町長車を運転していた、人件費計上です。

問 特定空家等解体支援事業補助金について。

答 西牧地区の危険空家解体工事に対する県補助金60万円です。



解体前の特定空家